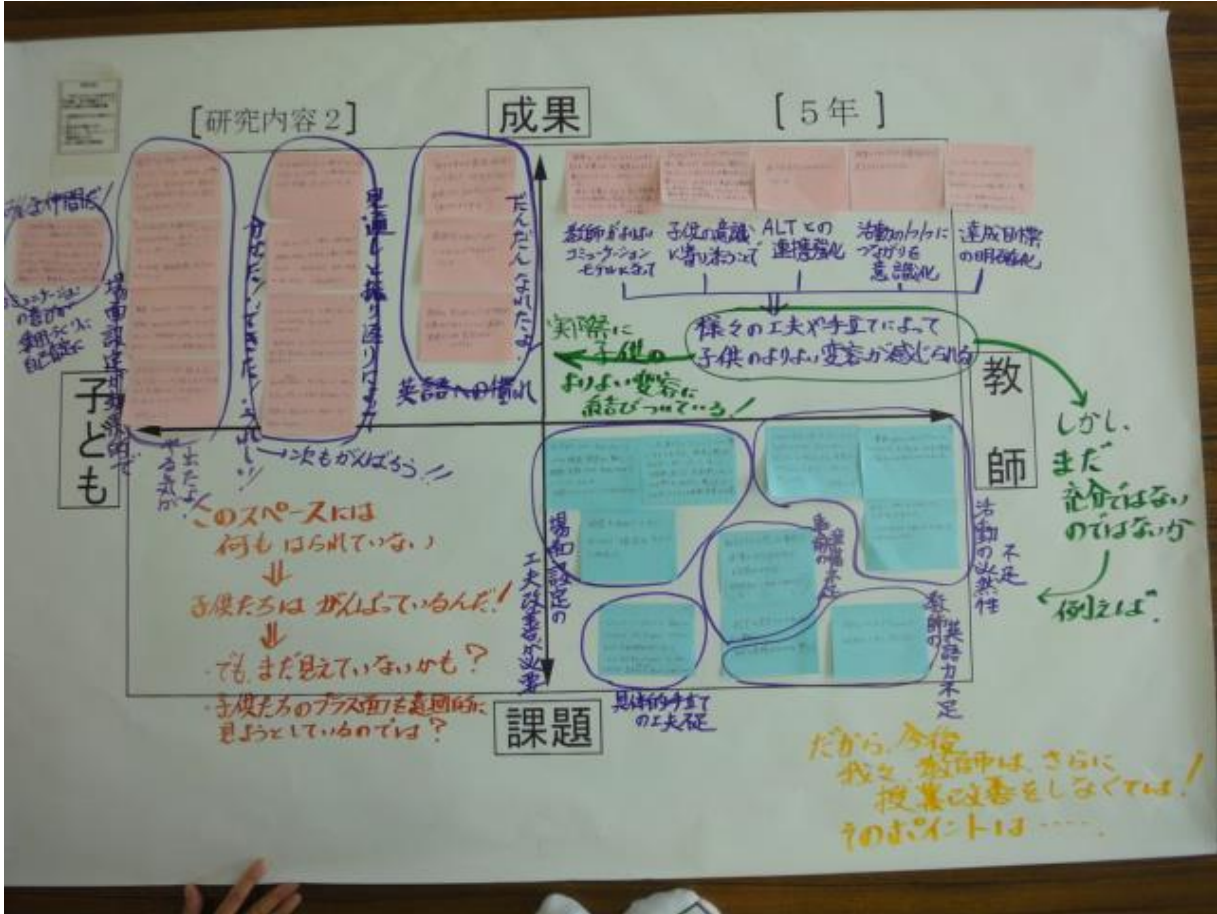


# 研究の成果と課題



# 実践の成果 研究内容1に関わって

- (1) 全学年による「共に学び合い・高め合う」ための言語活動の充実が図れた。
- (2) 「Hi, friends!」をもとにして、本校なりの年間指導計画の作成ができた。
- (3) 外国語活動を他教科・領域と効果的に結び付けたクロスカリキュラムが作成できた。

# 実践の成果 研究内容2に関わって

- (1) 問題解決的な単元構成の工夫により、見通しをもち、積極的に取り組む姿が見られた。
- (2) 協同的な活動の工夫により、共に学ぶ楽しさを感じ、安心して伝え合う活動ができた。
- (3) 子供の意識に寄り添った場面設定を工夫することで、  
子供は・・・意欲的にコミュニケーションを図ろうとすることができた。  
教師は・・・有効な支援の方法を明確にもって、単元や授業の構想ができた。

## 実践の成果 研究内容3に関わって

- (1) 指導・支援に生かすための教師による評価の充実を図ることができた。
- (2) 自己評価の工夫と充実により、自己肯定感や他者尊重の意識が高まった。

# 今後の課題

- (1) 場面設定や活動方法のさらなる工夫
- (2) 指導・支援の工夫
- (3) 聴く力, 伝える力の充実
- (4) コミュニケーション活動の工夫と充実
- (5) 振り返りカードのさらなる生かし方
- (6) クラスルームイングリッシュの効果的な活用



# 「たのしむ」「かかわる」「つながる」



福島イングリッシュフェスタ



留学生との交流